【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～〈重点目標〉互いに励まし合い、目標に向かってチャレンジする生徒
原町三中だより
平成２８年７月１日（金）第６号
発行責任者：校長　熊澤　正人
TEL　２２－３８０２

奉仕の精神、社会の一員としての自覚、地域のために役立とうとする心を育てる

６月１７日（金）生徒会主催美化活動実施

部活動ごとに全校生で作業

奉仕作業は生徒会主催の行事です。開会式でボランティア委員会から、奉仕の精神、社会の一員としての自覚など美化作業の目的について説明があり、その後部活動ごとに作業箇所を割り当て全校生で作業が行われました。

磐城太田郵便局方面ゴミ拾い

〇野球部：１２名



◆道路脇の草も刈られていてきれいでした。

医徳寺方面ゴミ拾い

〇男子バドミントン部：１８名



◆「もっと下の方まで探してみよう。」

堀内自動車商会方面ゴミ拾い

〇ソフトテニス部：１１名



◆運んでいるのはビデオレコーダーです。

校内花壇の除草・花苗植え

〇剣道部：５名、柔道部：１３名
文芸部：５名、吹奏楽部：１６名
女子バドミントン部：１３名



◆花の苗は補助金をいただいて購入しました。

「三中学区はきれいだね」地域の方々の心に感謝！

他の地区から通ってきている用務員さんが「三中学区はきれいだね」と感心していました。実際にゴミ拾いをしてみるとそう感じます。普段から地域の方々がきれいな環境を心がけていることに改めて感謝です。

人の心を動かす活動を

美化活動に先立ち生徒には次のように話しました。「君たちの美化作業を見て、周囲の人、通りがかりの人が、あーきれいにしてくれているんだな。ここでゴミを捨てちゃいけないな。と思ってくれるように、人の心を動かす活動をしたい。自分自身が心をこめて一生懸命やることです。作業に集中する。無言で取り組むことです。それが見ている人に伝わります。」



ボランティア委員会の説明